



『探究指向賞』 日本代表権獲得！

科学部の海水準班が、つくば ScienceEdge2019 で“**探究指向賞**”を受賞し、グローバル・リンク・シンガポール(世界大会)への代表権を獲得しました！
今回の SSH 通信は、その特集記事とします。

つくば ScienceEdge2019 (つくば国際会議場)

3月22日(金)～23日(土)、つくば国際会議場で行われた“つくば ScienceEdge2019”に、科学部4名が参加しました。

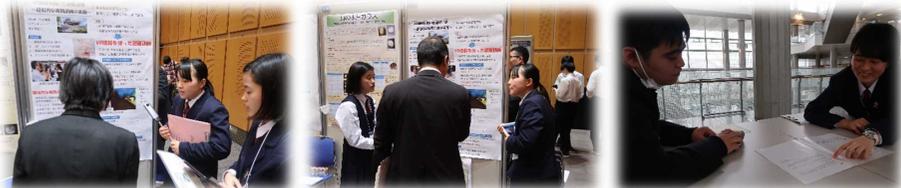
つくば ScienceEdge は、サイエンスアイデアコンテストとも呼ばれ、「未来の科学者」の芽を発掘し、育てる、新たな試みとして実施されており、今回で9回目の開催となります。また、科学に関する研究成果を世界レベルの研究者・科学者の前でプレゼンテーションし、ディスカッションできる機会でもあります。

天草高校は、SSH 指定後から「世界に飛躍する科学技術人材育成」という目的で出場しており、今回で2回目の参加となります。海水準班とVR班が出場しました。



ポスターセッション(1日目の様子)

VR班(岡部さん・本渡中出身、有田さん・苓北中出身)が、夜間避難訓練に関する研究をポスター発表しました。発表時間内にグッジョブシールをたくさん集めた班に賞が贈られます。VR班の発表内容は、生徒理科研究発表会九州大会から約1ヶ月で改善を行い、来場者に楽しんでもらえる内容に仕上げています。専門家の方々とのディスカッションでは深い内容まで問われましたが、自分たちの研究の方向性や、これまでの研究からわかることなど、適切に対処できたと思います。海水準班は、事前にいただいた審査員のコメントをもとに、発表内容を詰めました。



オーラルプレゼンテーション(2日目の様子)

2日目、事前審査を勝ち抜いた代表8校によるオーラルプレゼンテーションに、海水準班が出場しました。このプレゼンテーション審査で、“**創意指向賞**・**探究指向賞**・**未来指向賞**”に選出されると、7月に行われるグローバル・リンク・シンガポールへの代表権獲得となります。

テーマは、『50年後の熊本は…。～珪藻・花粉分析からの海水準変動予測～』。一つ上の先輩方とともに、研究を始めたものです。**天草の過去の海水準変動を明らかにし、未来予測を行うといった地球温暖化等の環境問題に貢献できる内容**となっています。まさに、地域を探究することで、世界に貢献できる人材育成を行いたいという本校のSSHコンセプトが体现された研究です。

大きな会場、大きなスクリーン、大勢聴衆といった今までにない緊張がありました。しかし、自分たちの研究成果を広く知ってもらいたいという第一の目標を掲げ、二人で力を合わせながら発表しました。**身振り手振りを交えながら、スライドやアニメーションを効果的に用いて、伝わるプレゼンテーションができた**と思います。

結果は“**探究指向賞**”。**珪藻分析と花粉分析といった2方からの分析を行っていることや、考古学の観点からも探究していることが高く評価された**ようです。

発表者の山下くん(五和中出身)と古田さん(本渡中出身)は、「他の研究のレベルが高く、自分たちが選出されると思っていませんでした。ただ、質疑応答を含め、今まで研究してきた**成果を存分に伝えることはできたので、受賞できたことは素直にうれしいです。日本代表としての自覚を持ち、世界大会でも高く評価されるよう頑張ります。**」と語ってくれました。

【グローバル・リンク・シンガポール情報】

期日：2019年7月26日(金)～29日(月)

会場：南洋工科大学 (NTU) キャンパス予定 ※シンガポール

内容：アジア太平洋地域における中高生のアイデアコンテスト

表敬訪問(熊本県教育長、天草市長)

4月22日(月)に宮尾千加子熊本県教育長、5月16日(木)に中村五木天草市長を表敬訪問しました。高校生が天草を研究していることを称賛され、世界大会に向けた激励をいただきました。

